

編 集 後 記

今回の原稿は、第135回生涯教育講座から2報、一般研究論文が7報、症例報告が2報となり、充実した内容となりました。

浦野ら、杉原らの論文はCOVID-19感染症に関連したもので、今の時代を反映していると思います。今のところCOVID-19感染症がどのように終息するのか予想が付きませんが、浦野らの論文のように治療法の開発は世界中で進んでいるようですので、近い将来季節性インフルエンザと同様に扱える日が来ることが期待されます。杉原らの論文は、感染そのものではないですが、感染症対応が人に与える影響という意味で、これからの感染症対策の一助となるのではないのでしょうか。

京による卵巣癌の論文、泉の2つの論文はそれぞれ総説で、卵巣がん診療、育児の際の助けとなると思います。牧野らの論文は、生活習慣病の管理、指導に有用な研究です。森脇ら、野村ら、谷口らの論文は単一施設の症例を集めたものではありませんが、このようにまとめて臨床の結果をレビューすることは大切で、PDCAのC(チェック)の部分に当たり、今後の診察の新たな展開につながることを期待します。

症例報告の2例は比較的まれな疾患の報告です。メタアナリシスなど多数の症例から検討される研究も大切なのですが、私は症例報告の一例一例が何か新しい治療法等へのきっかけを作ってくれるものと思っていますので、どんどん投稿していただければと思います。(S.K)

島根医学編集委員

浅野博雄， 貴谷 光， 児玉和夫， 大居慎治， 齋藤寛治，
細田眞司， 小阪真二， 田邊一明， 佐藤比登美， 小林祥泰，
椎名浩昭， 井岸 正

島根医学

令和4年12月31日発行

発行者 島根県医師会
松江市末次町
編集 編集者 浅野博雄

発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所